

# 横浜市テニス協会 創立 100 周年事業について

## ■横浜市テニス協会 100 周年記念誌の作成



横浜市は 1859 年(安政 6 年)に寒村であった村から日本の開港窓口として様々な外国文化の受入窓口として役割を果たし、スポーツに関してもテニスをはじめ様々なスポーツが導入されてきました。テニスの起源はフランスでジュドポームとして創世記は貴族の遊びの一つであった様です。それが、イギリスのワインフィールド少佐によって現代テニスの原型がつくられたようです。

我が国にテニスが導入された経過は幾つかの諸説もある様ですが、公式には山手公園で外国人によってテニスが行われ、徐々に普及してきました。

そのような中で、1922 年(大正 11 年)に有志が集まり、横浜のテニス普及、発展のため、「横浜庭球協会」が発足しました。この年は奇しくも日本テニス協会が創立された年と同時期でありました。

当協会の発足時は大会の開催が主な業務であり、初代会長には市民スポーツの父と言われた平沼亮三氏(第 15, 16 代横浜市長)を会長としてスタートし、これまでの間、様々な大会が実施されてきましたが、関東大震災による惨禍や、戦渦による影響で中断期がありましたが、昭和 31 年から再興期を迎え、協会の組織充実をはかり体制が強化され実施される大会も多岐に亘り行われ、まさに、横浜のテニスの普及・発展に大いに寄与して参りました。

これらの実績、功績に関しては偉大な先輩方のご努力と同時に多くのテニス関係者の方々のご尽力のおかげでこのように発展することができましたことを改めて感謝申し上げます。2020 年(令和 4 年)には協会創立からめでたく 100 周年を迎えることができました。この時期に会長職をお預かりした者としては、非常に名誉で有ると共にまた、大きな責務を感じておりますので、現在までの実績を記録し、後世に引き継ぐ貴重な資料としてまとめることが非常に重要なことであると認識しております。

中断期等の関係資料が残念ながら欠落していることも有りますが、現存する資料及び、関係団体の資料等を参考にしつつ、関係者の方々のご協力を得て 100 周年記念誌の作成を行う事ができました。

## ■100周年記念式典の開催

この様に横浜市テニス協会は、大正11年に数名のテニス愛好家の有志が集まり、横浜庭球協会を創立し2022年(令和4年)にめでたく、100周年を迎えることができました。

この間、関東大震災や、戦禍による中断期間が有りましたが、関係者のご努力により、再興期を迎え協会組織も充実し、実施する事業も各種大会をはじめ、多くの事業を実施し横浜の市民スポーツの普及・発展に寄与してきました。

これらの実績には優秀な指導者の方々をはじめ優れたテニスプレーヤーにより技術の向上が図られました。

そのため、今までの実績を振り返ると併に、今後の更なる発展を祈念するため今までの協会運営にご尽力を頂きました方々や、多くのテニス関係者の方々にご臨席頂き、賑々しく記念式典を開催致しました。

記念式典の開催時期は本来、創立100周年目の2022年(令和4年)に開催すべきでしたが、未曾有の新型コロナウイルス感染の恐れがあつたため東京オリンピックが開催時期を延期したことに準じて、当協会の記念式典も1年延期をして2023年に開催する事と致しました。

式典開催にあたっては山中竹春横浜市長をはじめ、日本テニス協会から土橋専務理事や多くのご来賓にご臨席を頂くと共に、加盟団体の皆様やテニス関係者の方々のご出席を頂き、今までの実績を振りかえり、今後の更なるテニスの普及、発展を目指す事をお誓いし、記念式典の開催を行いました。

これから当協会の課題としては、多くの各種大会、事業を実施してきましたが、今後とも各種大会・事業を一層充実させるためには、大規模な大会開催が可能となるテニスコート施設の整備が不可欠ですので、今後とも行政等のご支援を頂くと共に、関係各位の方々のご支援ご協力をお願いし、実現に向けて努力して参りたいと思いますので、どうぞ引き続き、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



令和5年11月吉日  
横浜市テニス協会  
会長 日下啓二